真田で楽しく!元気に!暮らしたい人のためのフリーペーパー

いきいき♪

活き活きふるさと通信

第28号 2012年8月1日発行【真田地域に全戸配布】



書中お見舞い

表紙を飾っているのは、東御市在住の原島さんファミリーです。2月19日(日)に開催した「真田の郷みんなのつどい」に遊びに来てくれたときのひとコマです。"ゆきたん"と一緒に良い写真が撮れました!変(そう)ちゃん、椛(せな)ちゃん、凛(すず)ちゃん、素敵な記念になったかな?^^







ーフェスティバルが行われました。広い芝生にシートを広げる家族や仲間たちが大勢集まり、ステーキや高原野菜や地元の料理の販売、太鼓やチアガールのステージなど盛りだくさんのイベントを楽しみました。(Y.Koichi)

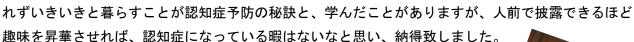
行ってきました!

今回は、「菅平高原グループ発表会」です。

今回は5月29日に行われた、菅平高原グループ発表会の取材をしました。

このグループ発表会は今年で23回目になり、菅平高原国際リゾートセンターで開催されています。長寿会や保育園児など、菅平地域の住民の皆さんの日頃の活動の成果を発表する機会となっており、13演目からなる大きなイベントです。今年はゲストに太神楽の翁家和助さんをお招きし、見事な曲芸を披露して頂きました。

皆さんの堂々たる公演に感動しました。いくつになっても趣味を忘









取材をしての感想: 菅平の皆さんは、夏と冬は旅館業、春から秋にかけては高原野菜など、一年を通して忙しい方が多い中、様々な文化的活動をされていることを知り、大変素晴らしいと思いました。仕事だけでなく、趣味も人前で発表できるまで高めるという、向上心の高さは大いに見習うべきだと感じ

ます。いくつになっても趣味を持っていると認知症になりにくいと言われていますが、私も皆さんを見習って大勢で楽しめる文化的な活動をしていきたいと思いました。また、この様な発表会があったらまた取材に行かせて頂き、いきいきと活躍される菅平の皆さんを拝見したいと思いました。 (真田包括 勝侯)

真田包括支援センターは、 高齢者の生活を支える総合窓口です。 2272-8055 有線 2080 (総合福祉センター内 社会福祉協議会)





第6回 宮島静男翁顕彰碑 荒木貢格翁顕彰碑

文·若林幸正 (通信員No.49)

このお二人の顕彰碑が旧真田町役場(現真田町地域自治センター)の西側に二人一体の碑が建立されている。昭和33年10月、長村、傍陽村、本原村が合併し真田町が発足し、現在の飛躍的な成長と発展を見るとき、お二人の献身的な努力の積み重ねの賜であり、町民斉しく認めるところである。町発足当時から町政の要職にあった人々とこの事業に賛同された。賛助企業団体からお二人の町政に努力された功績を永く後世に伝えるため顕彰碑が建立されている。

◎ 顕彰碑に記されている碑文(要約)

○荒木貢格翁

1、明治 25 年 11 月 長村真田区に生まれる

2、昭和14年 長村特定郵便局長 長村会議員

3、昭和 22 年 長村長 (2 期)

4、昭和26年 長野県県議会議員(2期)

この間多くの役職を歴任する

5、昭和33年 初代真田町長に当選(2期)



当初の厳しい財政事情の中、町の未来づくりに向かって意欲を燃やし全力を尽くす 翁は自治消防体制の近代を長期に亘り貢献した功績により、正六位勲五等雙光旭章に賜った。 ここに翁の永年に亘る功績を後世に伝えるため、同志相計り碑を建立し、その徳を称えるものである。

○宮島静男翁

1、明治42年10月 長村戸沢区に生まれる

2、昭和19年 長村役場に奉職。教育長・収入役・助役を務め、村の戦後復興と三ケ村合併

に尽力する。

3、昭和34年 長村農業協同組合専務理事として農業の振興に貢献 する。

4、昭和 41 年 11 月 第 2 代真田町長に当選(在職 6 期)

翁は住民参加の計画行政を推進し、今日の基礎を 築いた。この間数多くの役職を歴任し地方自治発 展に尽力し、その幾多の功績により、従五位勲四 等瑞宝章を賜った。ここに、翁の永年に亘る功績 を後世に伝えるため、同志相計り碑を建立しその 徳を称えるものである。

く ひとくちメモ >

1. 顕彰碑所在地 現真田自治センター西側

2. レリーフ制作 石黒孫七

3. 施 工 (株) 東洋石材センター

4. 写真撮影年月日 平成 24 年 2 月

5. 参考文献 顕彰碑序幕記念誌

◎ 顕彰碑除幕式(祝賀式)

平成6年9月27日に開催された。

・ 賛助金にご協力者九百余名

SAFE & GALLERY Sea-

日替りランチ 600 円≪コーヒー付 700 円≫数に限りがあります。 軽食(カレー・ピラフ等)やスウィーツもございます。

TEL (0268)72-8100 定休日・日曜日 11:00 ~ 17:00 (ラストオーダー16:30)

★広告募集中★

1か月 3,150円(税込) 3か月 6,300円(税込)



真田町の社長さん 第2回



オートステージワカバヤシ(自動車販売・車検・修理・板金・塗装)

代表 若林 利治さん



お屋敷公園側のとてものどかな場所に建つ工場。

車の下にもぐり、お仕事の最中におじゃましました。

仕事の手を止め、タオルで汗をぬぐいながら愛猫の"いちご"と出迎えてくださいました。笑顔のさわやかな、とても気さくな社長さんでした。

日産・農協で経験を積み、2002年に独立。今年でちょうど 10年。夫婦二人で歩んできました。「車は最良の状態で乗っていただきたい」をモットーに、不備があると頼まれないところまで直してしまう・・・(もちろんサービスです)「タイヤがついているものは、バイクでも自転車でもなんでも見ます」とのこと。地元の皆さんに頼りにされる車のお医者さんです。





こんな社長さんの趣味は、"料理"。ステキですね。料理に使う食材集めが大好きで、山ではタケノコ、キノコ等の山菜を、海ではアワビ、サザエと新鮮な食材を使い、家族(奥様、長女、次女、長男)のために腕をふるいます。車の道に進もうか、料理の道に進もうか迷った程、料理に対してのこだわりは半端じゃない様です。

頭が上がらない人は?の質問に、「地元の先輩方」との答えが返ってきました。「教えていただくことが沢山ある」とおっしゃいます。

真田生まれの真田育ちの若林さん。地域の中ではソフトボールチームに所属。三ツ頭獅子、鉄砲隊と様々な場所での活躍に、凛々しさと存在感の大きさを感じました。

怖いものは?の質問に対しては「我が家の女性陣はちょっとこわいかな」と茶目っ気 たっぷりの笑顔を見せてくれました。

次回は若林さんのご紹介で、**風屋とうふ店の社長さん**訪問です。よろしくお願いします。(T. Ide)





ご自慢のペットについて語ってみませんか?投書・インタビューなんでもOKです。事務局までご連絡ください。



我が家のペット自慢





愛犬"アザレ"がアザレアンから我が家にきたのは 12 年前、すでに 8 歳をむかえていました。愛くるしい眼差しは私たちをいつも魅了し続けていました。

時には門扉を開けて脱走犬化し、何度か市の職員にご迷惑をおかけすることがありましたがとても賢い子で、ある時は、私が買い物をしているとある男性が『俺、おどけたぜ。犬がよー、運転席でクラクションを鳴らしてたんだよ。あんなの見たの初めてだぜ。』私は内心そんな犬がいるのかと即座に買い物を済ませ車に戻ったところ、なんとアザレが運転席に座りクラクションをならしているではありませんか。その姿を見た私は怒るより感心してしまいました。

そんなアザレはとても子供が好きで子供たちもアザレが大好きで、道端でたむろしている子供たちがアザレの姿を見るなり皆で駆け寄ってきては、めいめいに頭をなでて可愛がってくれました。

それから、こんな事もありました、あまりにもアザレが可愛かったのでしょうか自宅へ連れ帰ってしまった子がいて、大変お母さんが困ってしまいファックスをくれました。すぐに迎えに行くとその子は大粒

の涙を流しながら、お母さんに『帰しちゃやだ。帰しちゃやだ。』と必死にお願いしていました。その姿を見ていたら2,3日貸してもいいかなと思う反面そうしてやることもできず複雑な思いで連れ帰ってきました。

また、ある日、我が家に可愛い二人の女の子が『アザレ貸してください』と来て、長い時間、遊んでくれたり散歩をしてくれたりと本当に可愛いがってもらいました。そんな癒しの自慢のアザレも今年4月14



日、19 歳 3 ヶ月でこの世から旅たっていきました。でも私たちの心にはいつまでもアザレは生きています。(M.Yanagisawa)



真田に住む方々の"プチ自慢"を聞く ◆第

◆第26回◆

売りい ただし 荒井 正さん (曲尾自治会) をインタビュー!!!

僕は、ひなやまの家(グループホーム)で暮らし、日中は入軽井沢自治会にある〇IDEYOハ

ウスに通って働いています。主に農作業に従事しています。これからの季節は、キュウリやトマト、ホウレンソウなどの野菜、それから、お米やりんごも作ります。どれも低農薬の安全な野菜、果物です。

僕の自慢6は、自分たちが作った製品を売ることです。雷バックや雷グッツ、竹炭入石鹸、竹酢酸、トマトジュース、りんごジュース、野菜など、「上田千本桜祭」などのイベントがあると売りにいきます。「いらっしゃいませ」、「いかがでか」、どなたにも気軽に声が掛けられます。良い品物なので、自信をもって売っています。



介護者 必見!



在宅で介護されている方々。介護に腰痛はつきものと思っていませんか?

北欧の介護技術を取り入れた、薄い板(スライディングボード)やビニール袋のような道具(スライディングシーツ)を使うと、大きな寝たきりの人が**するり**とベッドから車椅子に移動しました。

良い介護を続けるためには、介護者自身の健康管理が一番です。 2 年前から行っているライフステージかりがねとアザレアンさなだ合同の研修会に参加しま



したが、介護者の負担が軽くなり、これは在宅で介護されている方に是非知って頂きたいと思いました。まずはご自分の目で確かめて下さい。

実は高価な道具を買わなくても、身の回りにあるスーパーバッグ(あのカシャカシャ音のするもの)でも代用できるのです。自宅で介護をされていて、介護技術に関心のある方は、次回の研修会、9/2(日)午後1時30分にアザレアンさなだのデイサービスフロアにお集まりください。(担当:田中文子 **27**72-2781)百聞は一見にしかず!!です。

(H24.6/18 日 25 名ほどの皆さんが熱心に参加されていました) (Y. Mochizuki)





編集後記

- ●取材を通し人と人とのつながりを強く感じました。お忙しい中、楽しいお話を沢山してくださいました。 オートステージの若林様、ありがとうございました。(ide)
- ●ビニール袋を使った介護方法は驚きでした。これからもたくさんの情報発信をしていきたいと思います。 (michizuki)
- ●6月3日の菅平カントリーフェスティバルは、実は初めて行きました。爽やかな高原の風が、とても気持ち良くステーキもレタスもおいしかった! 大人も子供も、1日のんびり楽しんでいました。まだ行ったことのない方、来年いかがでしょうか?! (koichi)

おかげさまで、アザレアンさなだは、創立20周年を迎えることができました。 これも地域の皆様方に支えていただいた賜物と、深く感謝申し上げます。 これからも、相変らぬご支援・ご鞭撻を、よろしくお願い申し上げます。

発行元:「真田 活き活きふるさと通信」編集部 事務局: 高齢者総合福祉施設アザレアンさなだ内 〒386-2201 上田市真田町長 7141-1 有線 2111

TEL 0268-72-2781 FAX 0268-61-4010 E-mail keijinfukushi@azarean.jp ホームページ http://www.azarean.jp/

イベント情報や、通信を読まれてのご意見、ご感想をお寄せください。次号は2012年10月1日の発行です。